

事業所名

エミナジュニア敷地教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

7

年

3

月

27

日

法人（事業所）理念		「一人ひとりのお子様とご家族に寄り添い、お子様の可能性を引き出す療育をめざす」						
支援方針		生きる力を身に着ける						
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	作業療法士支援の下、指先を上手に使うことが出来る。 怪我をしてしまったとき、気持ちを受け入れられるようにする。 毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する。体調不良時は自分から伝えられるようになる。 整理整頓力を身に着ける						
	運動・感覚	アイロンビーズなど、工作を楽しむ中で作業療法士の支援の下指先の動きの向上を図る。 サッカー等の運動を継続して実施し、体力や体幹の向上を目指す。 椅子に姿勢よく座り、分かるところは一人で学習できるようにする。						
	認知・行動	自分の物の所時を把握する。 決められた時間、苦手な学習にも集中して取り組むことができる。 細かな作業も集中して取り組むことができる。						
	言語 コミュニケーション	お友達の話を聞き、かかわりを持つことが出来る。 その場の環境に合った、声量を考えることができる。 相手の気持ちを考えて発言することができる。						
	人間関係 社会性	嫌なことがあった際、適切な言葉で相手に伝えることが出来る。 自分の感情をコントロールできる。 集団生活において落ち着いて行動できるようになる等、社会に適応する力をはぐくむ。						
家族支援		日常生活において、本人の意思を大切にしながら話し合える場面を増やす。家族支援加算II:保護者希望のもと、月1回程度実施する。			移行支援		学校の連絡とエミナの連絡内容を相互に確認し、時間割変更や特別日課、各機関の支援計画書の確認や日々の様子を交換する。	
地域支援・地域連携		支援関係機関で役割分担を行うとともに、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体案を提案する。各機関協力のもと、連携会議を必要に応じて開催し情報収集と役割分担について協議する。			職員の質の向上		研修参加（現地参加、ZOOMなどによる視聴型研修） 資格取得支援	
主な行事等		長期休み期間におけるおでかけ（他市の公園、おもちゃ美術館、るくる、マークイズでの買い物体験、ディスカバリーパーク、プール（夏季のみ）） クリスマスなどの季節物の行事 お誕生日会						